

公民館報

いな

vol.405

発行/伊那市公民館運営協議会 編集/公民館報いな編集委員会
問い合わせ先 〒396-0015 伊那市中央5053番地 TEL.0265-78-3447 FAX.0265-78-5866
伊那市公式ホームページ <http://www.inacity.jp/> E-mail kmk@inacity.jp



人ひと 竹松 亨さんP19

まちの声むらの声 酒井 弘道さんP19

分館紹介 西春近公民館「小出一区分館」P20

ふるさと新発見 山頭火文学碑(西箕輪与地)P20

思い出アルバム・おしらせP21

今月の Photo 第23回西箕輪高原マラソン大会 (成24年4月29日開催)

晴天の空の下、西箕輪の小・中学生はもちろん、地区の人々や地区外からの参加者も含め約200人のランナーたちが高原のさわやかな風の中を駆けぬけました。

伊那市公民館のホームページはこちらから



五月……と公民館、いろいろな講座や教室が始まります。

以前、籐工芸のクラブに通っていた八十歳を過ぎた女性が「私は家にいても何もすることがなくてつまらないので、こうして公民館へ来るのが何よりの楽しみなの。公民館へ来れば仲間と話ができるし、上手でなくても先生に褒めてもらえてうれしいの。」と語っていました。

その訳は、家で何か手伝いたいんだけど、ガスを使うと危ないし、洗濯物を取り込む時に転んで骨折でもすると困るので、じっとこたつでテレビを見ていなさいと言われていたとのこと……。

今、公民館は子どもからお年寄り、子育て中の母親、中高年の男性など、いろいろな世代の居場所づくり、仲間づくり、生きがいづくりを願っています。

伊那公民館長 武田 登



ひと



古い地名とその由来をたずねて

伊那市生涯学習課 竹松 亨さん

竹松さんは文化財係で、市内に昔から伝わる地名の調査をされています。竹松さんに地名調査への思いについてお聞きしたところ「地名はその土地の人々の生活の中から生まれ伝えられ、生きる知恵・郷土を愛する心の象徴であり、貴重な財産です。しかし、近代の市町村合併や区画整理事業等によって、地名は大きく変わりました。また、世代間の交流が減ったこともあり、昔からの地名が忘れ去ら

れようとしています。この貴重な地名をきちんと記録・保存し、私たちの生き方に活かしていくこと、地域の子どもたちに伝えていくことができれば嬉しいです。」と話してくださいました。竹松さんはこれまで社会科の先生として学校に勤められ、個人的に各地の古い地名の調査をされていたこともあり、現在の仕事にやりがいを持って携わっておられるようでした。

趣味は、教員時代から続けている陶芸で、粘土で物を作っている時間はとても落ち着くことができるそうです。以前に縄文土器を子どもたちと一緒に作ったこともあるそうです。地名の調査には地域の方の助けが欠かせないとして「各地域には、地名を調べている方が沢山いらっしゃるの、そんな方を紹介していただきたいし、地名の変遷や由来の調査には、お年寄りの知恵をお借りしたい。先祖代々伝わっている地名等もぜひ教えてほしい。」と話されていました。地域の皆さんの力を得ながら、古い地名とその由来を探し、後世に残し伝えるための調査をこれからも進めていかれるそうです。

まのちの むらの 声 こえ

この四月に「一本飲めば1㎡再生」をキャッチフレーズにした芋焼酎「耕作放棄地再生隊」が発売されました。この芋焼酎の原料はその名のとおりサツマイモですが、

ただのサツマイモではありません。これは東春近田原地区の耕作放棄地で、新宿区等の住民と地元農家で作る「農事組合法人田原」が協働で苗植え・収穫等をしたサツマイモです。

一本飲めば1㎡の農地再生！

農事組合法人 田原 酒井 弘道さん（東春近）

この法人は昨年、市農業振興センターと連携し、新宿区等の住民を対象に「耕作放棄地再生体験ツアー」を実施しました。「自分たちでつくったサツマイモで焼酎をつくらう」を合言葉に、六月と十月の

二回にわたり、耕作放棄地の再生事業を実施しました。六月は約三アールの農地の開墾から苗植えの作業。腰に届きそうな草を刈払機で刈り、鋤を振って耕し、苗を植えまし

いながらコンテナをひっくり返した即席の卓を囲み、夜が更けるまで交流を深めました。十月は収穫と焼酎の仕込み作業。雨上がりの虹に見守られながら立派に育ったサツマイモを収穫しました。その後、酒造会社と運び、参加者の手でカットした芋は、焼酎になるその瞬間を待ちわびました。そして四月、農地再生と友好交流の想いをのせた芋焼酎は「耕作放棄地再生隊」と名付けられ、また、苗一本（1㎡）で「一本飲めば1㎡再生」というキャッチフレーズが付けられました。耕作放棄地から生まれた珠玉の一本。ぜひご賞味、いや、ご再生ください。

分館紹介

西春近公民館

小出一区分館

西春近小出一区は伊那市の西南に位置し、北は小黒川、西は中央アルプス、東は天竜川に囲まれた段丘上にあり、朝は仙丈からの朝日がさすところです。市役所や伊那市駅からは2kmから3km弱と比較的市中心部に近い純農村地域で、区の世帯数は二二〇戸ほどの小さな集落です。

昨年十一月に区民待望の公民館が国の補助金をいただき完成しました。公民館は「小出一区いきいき交流施設」と命



小出一区公民館(平成23年11月完成)

名され、区民の様々な活動に利用されています。分館活動は、分館長、主事の他に青少年育成会の役員が加わり、九名で運営しています。主な行事は、一年おきの区民運動会、八月に行う夜店・花火大会、球技大会、餅つき大会、しめ飾り講習会などです。その他本館事業のトリムパレード、伊那まつり、権現山登山、文化祭などに参加しています。

今年の四月十五日には、昨年できなかった区民運動会を三年ぶりに実施しました。運動会は区民待望の行事ですが、昨年は、東日本大震災に配慮して中止したため、久々の開催となりました。当日は、前日の雨でグラウンドがぬかるんでいたため、西春近北小学校の体育館での開催となりましたが、運営役員の心配を吹き飛ばすように、大勢の区民の方々が参加してくださり、大盛況のうちに終了することができ、ほっとしました。

今後の行事も区民の交流が深められるよう、活動していきたいと思えます。(分館長 唐木 一由)



小出一区区民運動会(平成24年4月15日開催)

ふるさと新発見

山頭火文学碑(西箕輪与地)

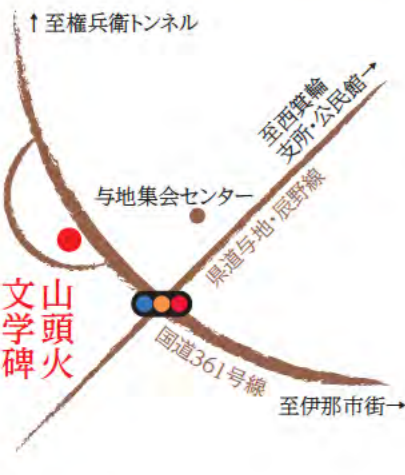
国道三六一号線、与地の信号から権兵衛トンネル方向へ二五〇mほど進んだ左側に、漂泊の俳人井月を敬慕した俳人種田山頭火の文学碑があります。

種田山頭火(一八八二-一九四〇)は昭和十四年(一九三九)郷里の山口県から出かけて、五月三日に井月の墓参りをし、高遠に遊んで俳友前田若水の家に二日留まり、五月五日に峠を越えて木曾へ向かいました。この碑には、山頭火が残した「風来居日記」の一部で権兵衛峠を越えた時の日記が刻まれています。



今は権兵衛トンネルが開通し、あつという間に通過できますが、この碑文を読むと旅姿の山頭火が、権兵衛峠を越えた様子がありありと目に浮かびます。木曾方面に行く時、ぜひ足を止めて山頭火の碑をご覧ください。

五月五日 晴
今日は端午 奈良井
若水君ありがたう皆さん
ごさげんよう伊那よささようなら
七時出立小沢川にそうて
権兵衛峠(山桜が咲いて
ここに一本そこに一本(略)
山の家ではそこに三軒あったが
娘さんが手臼でまはして
何かの粉を挽いてみた(略)
(原文のまま)



思い出アルバム



第24回手良地区大運動会

4月22日開催



第23回東春近運動会

4月22日開催



第45回高烏谷山区民ハイキング

5月4日開催



美篤公民館講座第1回「芽と実」読み聞かせの会

5月9日開催

おしらせ

高遠町桜大学 第2講座

日時 7月16日(祝・海の日)
午後1時30分から

場所 高遠町総合福祉センターやますそ

講師 東京藝術大学 学長
宮田 亮平 先生

入場料は
無料です

お問い合わせ 高遠町公民館 ☎94-2557

西箕輪ふるさと講座

日時 6月23日(土)
午後1時30分から

場所 西箕輪公民館 講堂

講師 羽広獅子舞保存会 城取 誠 さん

内容 講演 羽広の獅子舞400年の歴史について 等
獅子舞保存会による実演

お問い合わせ 西箕輪公民館 ☎72-2319